

1/どの空間も白が基調。明るく広々とした印象にしたいと、床、壁、天井を張り替えていったそうです。リビングの収納量アップを目的に、キャットステップにもなる収納BOXを窓際にプラス。空ちゃんの絶好の遊び場になっています。

2/鏡とガラスが好き、という奥様の趣向を活かした、スタイリッシュなダイニング。「テーブルは天板がガラスのものを選ぶと、空間が広く見えるんです。壁面のブロンズの鏡は、横長にしてモザイクタイルをあしらいたい、と具体的なイメージを伝えてつくっていただきました」



## 猫の幸せが、わが家の幸せ。 理想のペットライフを描いた、 猫好き夫婦の大人リノベ。

[大阪府大阪市] Y様邸

ペットは大切な家族の一員。わが家でゴキゲンな毎日をご希望。どんな飼い主さんも、きっとそう願っているはず。そこで今回は、都心のマンションで猫の空(くう)ちゃんと暮らすご夫婦を取材。お互いにとっての心地よさはもちろん、「飼い主としての責任をしっかりと果たしたい」という想いを叶えた愛情たっぷりのリノベーションをご紹介します。

+

イマドキ  
リノベの  
処方箋  
9



猫のため人のために手を入れ、  
理想の住まいへ。

Y様ご夫婦が大阪有数の繁華街にほど近いグランドメゾンに入居されて約15年。その間に小分けにリノベーションしてきたというお住まいには猫とより良く暮らすための工夫が隅々にまで行き渡っています。じつは結婚当初、奥様はとくに猫好きというわけではなかったそうで、「夫が愛猫を連れてきたのですが、私はそれまで猫と暮らした経験がなかったので、習性を今ひとつ理解できなくて。すでに高齢だったこともあって、あまり仲良くなれないままお別れしてしまっただけです」

もっと一緒に楽しく過ごすことができれば良かったな...と後悔が募った奥様。いつかまた、との想いを胸に秘めたまま8年の年月が流れました。そして、ついに迎えた運命の出会い。新たなペットライフのスタートです。

「最初に変更したのはドアです。猫ができるだけ自由に部屋を行き来できるようにと開放してはいたんですが、真冬になるとさすがに私たちが寒くて。リビングと寝室のドアを、キャットドアにしました」

その後、マンションの点検などの節目に、ここは猫のため、ここは私たちのためと、必要に応じて手を入れ、理想の住まいへと近づけていったそうです。

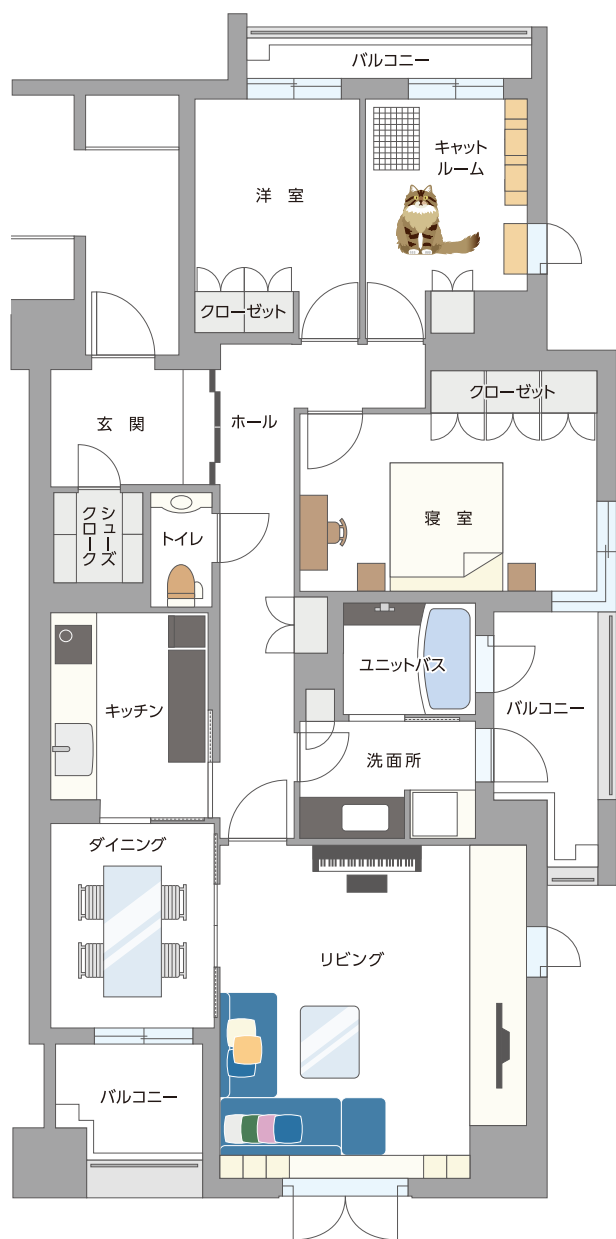
「私はやりたいことがはっきりしているタイプで、たくさん無理なお願ひもしました。その一つひとつに、積水ハウスの担当者のMさんが丁寧に対応してくださって。いろいろな提案もしていただき、感謝しています」



6



Before



### Point 「念願のハイブリッドコンロ」

統一されたカラー。美しいレイアウト。直近のリノベーションで刷新したキッチン、料理が得意なご主人がプロデュース。コンロは念願だったガスとIHのハイブリッドで、一番のお気に入りだとか。煮込み料理など長時間火にかけるものは、目を離している間に空ちゃんが近づいても安心なIHで。炒めものなどその場を離れることなく短時間で調理をする場合はガスで。そんな風に使い分けができるコンロをずっと探していたそうです。



Before



3

3/ 積水ハウスのモデルルームで「これだ!」とヒントを得た脱走防止策の扉。「間口が狭くならないような風に取り付けられるか、私たちの要望との兼ね合いもあって、担当者のMさんが一番苦労された部分だと思います」

4/ 高い所が大好きな猫の習性を踏まえて、キャットルームの窓辺に見晴台を設けました。「何か動いている!」と空ちゃんも日々、窓の外をチェック。自由気ままに移動できるキャットドアも含め、空ちゃんがストレスなく元気に暮らせる工夫が満載です。

5/ トイレ、洗面所、バスルームなど設備も刷新し、暮らし心地とインテリア性をアップ。排水管のメンテナンスがしやすいよう洗濯機の置き台を高くするなど、これまで気になっていた細かい課題も、リノベーションを機にまとめて解消しました。

6/ 寝室は落ち着いた雰囲気大切にしたいと、質感にこだわった壁に変え、床は気に入っていた入居当初のままに。他の部屋も以前はダークな木目の床だったそうです。



4

### 脱走は飼い主の責任。だからこそ安全対策は念入りに。

Y様邸に一歩足を踏み入れてまず驚くのは、モダンなデザインが印象的な玄関ホール。透明な引き戸になっているため開放感も抜群です。こんな素敵な扉に迎え入れられると、帰ってくる家族もゲストも、楽しい気分になれるそうです。

「じつは、猫と暮らす上で一番実現したかったのが、この扉なんです」と奥様。そこに、なにになに?と、どこからともなくスッと現れたのが、好奇心旺盛な空ちゃん。今回の主役(?)です。

「ここはもともとオープンなスペースだったのですが、空ちゃんの脱走防止策として取り付けました。病気になるのは仕方ない部分もありますが、脱走して事故に遭うのは飼い主の責任だと思っんです。だからこそ、安全を確保するためにできる限りの対策をしておきたい、と考えています」

安全という意味では、ダイニングとリビングを仕切る引き戸も同じだそうです。

「気づかない間にびよんとテーブルに乗ってくるのがよくあって。冬に鍋物などをするときは危ないので、引き戸を設けました。閉めても圧迫感がないように「こも透明にしたんですが、食事中も隣の部屋で過ごす空ちゃんの様子を見ることができるので嬉しいですね」

そのほかにも、空ちゃん専用の居場所としてキャットルームを設けたり、床をメンテナンスのしやすい素材に変えたりと、快適さや利便性をアップ。最終的には、キッチンなど水まわりも一新されました。

### 住まいによって事情はさまざま。プロに相談するのがおすすめです。

最後に、ペットライフを前提にしたマンションのリノベーションを考えている方に、何かアドバイスがあればお願いします。「それぞれに住まいの事情が異なるので一概には言えませんが、やはりストレス解消のために家中を歩き来できるようにしてあげること、そして猫の場合はとくに、窓の外を眺めたり、上下運動ができるような工夫が大事なかなと思います。また、脱走防止など安全の確保を、というお話をしましたが、それによってインテリアの雰囲気が崩れてしまうのはちょっと...と躊躇される方もきっといらっしゃると思うんです。そんなときに頼りになるのがプロの視点。お任せして、提案してもらおうが一番です(笑)」

家族として、飼い主としての温かいまなざしに満ちた大人の住まいのリノベーション。空ちゃんもきっと大満足しているに違いありません。「わが家の顔」として、じつに堂々と撮影に応じる姿を見れば、一目瞭然です。

